

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2025.10.No338

10月号

目次

全国女性建築士連絡協議会報告…	1
支部事業報告「建築士の日」…	2
応急危険度判定士認定講習会 (新規)案内…	3
建築士試験分析…	4
女性の窓…	6
[No.119 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break…	7
information…	8

URL <https://www.h-ab.com/>

令和7年度 第34回 全国女性建築士連絡協議会 (山形大会)に参加して

女性委員会 児玉恵美 (札幌支部)



7月19日(土)と20日(日)の2日間に渡って開催されました、「全国女性建築士連絡協議会 山形大会」に参加し、基調講演・被災地報告・分科会・エクスカージョンと、多方面から学びと、交流の機会をいただきました。

7月の山形は、気温36度で、風のない盆地、西には夏スキーのメッカ月山を眺め、食べても飲んでも美味しく、歴史あり文化あり、冷やしラーメンに冷やしシャンプーあり、驚きの多い土地でもありました。そんな山形で開催された「全建女」と呼ばれるこの大会は、ハイブリッドで開催され、私は初めて会場で参加いたしました。

1日目の「木造建築の可能性」をテーマにした基調講演では、山形出身の建築家 瀬野和広氏が、現在の木造建築への思いを語られました。印象的な言葉「裏山の木で家建てたい」「古民家はなぜ腐らないのか？」この2点に共通する、経済優先が生み出した課題に、何ができるのかを考えさせられる内容でした。続いて鍋野友哉氏の講演では、国産材を用いて山形に自邸を建築された経験が紹介されました。最後にお話された「良い」という感覚に基づいて選択を重ねていくと、自然に地域性へと結びついていくのではないかと、という視点は腑に落ちるものでした。大会式典では、各地の「被災地報告」がありました。昨年7月に起きた山形県北部豪雨災害の被害の爪痕と復興の大変さを改めて知り、発生時のニュースでしか知る事のなかった、住宅被害の深刻さを認識いたしました。

2日目は7つの分科会が開かれました。B分科会「古民家復権作戦」では、仙台で古民家再生に取り組んでこられた安井妙子氏から、岐阜県白川村の合掌造りを改修された際の設計手法を、断熱や気密の強化を交えて具体的に紹介いただきました。終了後の全体会では、各分科会から報告があり、様々なテーマの充実した内容を聴くことができました。A分科会では、「避難所運営を考える」というテーマで、北海道建築士会の吉田幸恵さんと後藤朋恵さんが司

会を、金子ゆかりさんがコーディネーターを務め、避難所運営ゲーム(HUG)を、会場とオンラインで実施するという初の挑戦を行い、大変活気ある分科会の様子が紹介されました。また、連合会副委員長の旭川支部 齊藤裕美さんによる大会の全体総評では、丁寧にとめられた2日間の内容が共有され、大会の意義を改めて確認する事ができました。



大懇親会では後藤委員長から、「失敗から学ぶ」の紹介がありました。

さらに午後からは、山形各地への魅力あるエクスカージョンが5コース準備されており、私は「紅花染め体験・将棋の書き駒・天童木工ショールーム見学」に参加しました。最上川流域の特産である紅花を用いた染め体験は、講師の大山るり子先生から紅花の特徴や歴史を学んだ上で、実際に綿のハンカチを染めました。紅花に直接触れ、手の中で染め上げる過程は、非常に満たされた体験であり、完成品を手にしたときの喜びも大きなものでした。



紅花と紅花染め
(天童市にて)

大会を通して、初めて会う方達と共にし、話をし、刺激を受ける時間を味わいました。そして山形県建築士会の皆さんのおもてなしの工夫に感動し、多くの学びもありました。頂いた体験を、建築士としての挑戦の力に変換していきたいと思えます。

石狩支部

子供達の椅子作り体験

事務局長 笠間 友美



石狩支部では令和7年度の建築士の日事業として、石狩市商工会議所青年部で行われた職業体験事業に大工体験という形で、石狩支部の榎本建設㈱さん協力のもとに出店させていただきました。こちらの職業体験は「ドリームキッズシティ ISHIKARI 2025」という名前で、石狩市北コミュニティセンターで、小学校3年生から6年生が、お仕事をしてお給料を貰ってお金(ドリーム)を使うことができ、いろいろな職業体験ができるというイベントです。榎本建設㈱と石狩支部では大工体験ということで、子供達に木の椅子を制作してもらいました。子供達はカットしてある木材を組み合わせて、電動ドリルを使い、ビスで木材を留めていく作業をしてもらいましたが、子供達はドリルを使うのに力が足りず上手く行かずに苦戦している姿が見られましたが、時間を掛け、少しずつ形になって出来上がってくると、椅子を作り上げた達成感で、嬉しそうな笑顔が見られ、物を作るという喜びをわかってもらえ、良い体験となったようで、こちらも一緒に嬉しくなる一日でした。



頑張ってお金(ドリーム)を使っているところです

日高支部

「建築士の日」支部活動

青年委員会 渡邊 忍



7月5日(土)に様似町のアポイ岳登山を日高支部では初の試みとして実施しました。

なぜ建築士会で登山か。それは日高支部事務局長が山と地域を愛しているからです。

様似町のアポイ岳を含む周辺エリアは、特殊な地形や地質、土壌条件によって育まれた固有の高山植物群落などが評価され、2015年「ユネスコ世界ジオパーク」に加盟を果たしました。2024年には「日高山脈襟裳十勝国立公園」に指定され、海外の方も含め年間平均6千人程度の登山者が訪れます。標高810mということで、様似町では幼稚園児も親子で登山を目指します。

今回の事業は日高支部の交流を目的としておりましたが、札幌支部や後志支部からも来ていただき、その後のバーベキューまでの参加、この場をお借りして大変感謝いたします。山は人を繋ぐのだと実感しました。

日高支部も会員数が減り、支部の活動については模索が必要となっています。今回の事業を振り返り、改善しながら来年は更に質の良いお肉や魚介類を準備し、充実した活動にしたいと思います。

来年は是非、みなさんもアポイ岳登山をしに様似町へお越し下さい。



美幌支部

合格祈願絵馬

副支部長 雅楽代 憲男



美幌支部の女満別地区で平成2年より行われている、合格祈願絵馬奉納事業を報告いたします。

平成2年より行われている当事業は、本年で36回を数えました。当時の青年部のメンバーが、中学生、高校生、高卒生の合格祈願のため、タタミ1枚ほどの絵馬をメンバーで自作し、商店街に1月ほど置いて、自由に書き込んでもらい、高校受験直前に、女満別神社にて、お祓いをしてもらうことを続けております。

絵馬のポリ板に当時はポスターカラーを使って、干支のイラストを隅に書き、通行人に合格祈願のメッセージを書き込んでもらっておりました。ポリ板は毎年張替え、その年の干支のイラストを毎年入れております。近年は、イラストも、カラーコピーになり、商店街の衰退等もあり、現在では、女満別神社の駐車場入り口付近に掲示しておりますが、本年も行っております。当時、建築士会青年部事業として行っておりましたが、青年部と呼べる年代のメンバーがいらない現在も、建築士会青年部の名前で、絵馬事業は行っております。

近年は、中学校の先生のご理解も頂き、先生が率先して生徒を引き連れて書き込みをして頂いています。

今後もひとまずは40年を目指して取り組んでいきます。

富良野支部

支部の近況

事務局長 竹内 秀之



富良野支部で事務局長をさせていただいております竹内と申します。建築士会の皆様には日頃より大変お世話になっております。支部の活動については1月17日に総会を開催し、今年度の各種大会や会議の参加について確認した他、例年開催している『建築士の日』ビールパーティの開催(1年遅れではありますが支部創立50周年と冠して)と親睦パークゴルフ大会の開催を決定し、6月28日(土)に開催しております。当日は炎天下の中パークゴルフには19名の参加、ビールパーティには約200名が参加し盛大に開催し無事終了することができました。9月27日に開催される中標津での全道大会には軽米支部長と橋場青年部長とともに参加を予定しております。

結びとなりますが、今後とも富良野支部共々よろしくお願いたします。



パークゴルフ大会



ビールパーティの様子

桧山支部

子供たちとの景観ワークショップ

常議員 岸田 宏美



平成22年から江差町内の小学校6年生を対象に郷土学習の場としてワークショップを開催しており、今回で15回目となる本事業を建築士の日の事業として位置付け、桧山支部を中心に、桧山振興局、江差町役場、北海道科学大学谷口研究室の4者で協働する桧山景観プラットフォームが実施主体となって開催しています。

本事業は、江差の歴史ある街並みや風景について学ぶとともに、具体的な景観づくりについて理解を深めてもらうことを目的としております。

今回は「一休み公園（本事業で平成22年に整備）」に置かれている木製イスのリニューアルを行う計画で、7月に実施した第1回目のワークショップで江差の景観を学び、江差の自慢をテーマにした絵を描きました。

そして、9月に実施する第2回目のワークショップで一人ひとりが一生懸命描いた旧中村家住宅やかもめ島、海や夕焼けなどの絵をベースにして、公園に設置しているイスに着彩する予定としています。

ワークショップでは子供たちが自分で板をビス打ちする作業もあり、地元の大工さんらと触れ合いながら、「まちづくり」と「ものづくり」の大切さや楽しさを感じてくれることを期待しています。



昨年のビス打ちの様子

釧路支部

第34回ビールパーティ

釧路支部長 香川 博



釧路支部恒例の「ビールパーティ」が7月18日（金）に国際交流センターで開催されました。今年で34回目。300名以上の方々の御参加をいただきました。生ビールやハイボール等が飲み放題。会費は昨今の物価高を吹き飛ばす3,300円也。参加者の皆様には、いつも喜んでもらっていると自負しております。司会は釧路支部が誇るS氏とK嬢。「俺が、私がいないと始まらない」との決意のもと、今年も迷司会ぶりを発揮していただきました（いつもありがとうございます）。そして大々抽選会！5万円の旅行券を筆頭に、3万円の商品券やその他食事券等が多数当たり、ワイワイガヤガヤ、大騒ぎをしながら楽しいひと時を過ごすことが出来ました、参加をいただいた皆様、商品を提供していただいた皆様、本当にありがとうございました。

釧路支部も他支部同様に会員減少に歯止めがかからず、非常に厳しい支部運営を続けております。しかし、ビールパーティに参加された皆さんの笑顔が私達のよりどころです。今後とも様々な事業を行ってまいりますので、北海道建築士会釧路支部をよろしく願います。



第34回ビールパーティの様子

令和7年度応急危険度判定士認定講習会(新規)のご案内

今年度から、応急危険度判定士認定制度の改正により、下記の日程で新規のみ対面講習を開催いたします。

■認定講習会開催日等

令和7年

開催地	開催日時	会場名	定員
札幌市	令和7年11月10日(月) 13:30~15:30	北海道自治労会館 3階 中ホール	150名

令和8年

札幌市	令和8年2月4日(水) 13:30~15:30	北海道自治労会館 3階 中ホール	150名
-----	-------------------------	------------------	------

1. 申込方法 下記の受講申込書を(一社)北海道建築士会あてに郵送またはメール(oq@h-ab.com)で提出してください。

注意：(一社)北海道建築士会の各支部での受講申込の受付はいたしません。

【新規申込者】 応急危険度判定士認定講習会受講申込書（第2-1号様式）

※受講申込書様式は(一社)北海道建築士会ホームページよりダウンロードの上、ご使用ください。

2. 受講料 無料 ※新規はWeb講習会も開催いたします。(11月10日(月)より(予定))

【更新対象者について】

今年度より、講習会受講義務を廃止し、認定の有効期限満了年度に、申請書類のみで随時更新申請が可能となります。応急危険度判定士認定証の有効期間は（登録手続ごとに）5年です。

有効期間が今年度（令和8年3月末）までの方は、更新認定申請が必要となります。

※講習会、更新申請の詳細は(一社)北海道建築士会ホームページにてご確認ください。

<https://h-ab.com/session/oukyu.html>

令和7年 一級・二級建築士試験「学科の試験」分析

令和7年度 1級・2級建築士 学科試験全体総評



令和7年度 1級建築士学科試験について、難度が低かった令和6年度に比べ、全体的に難度が高くなりました。ただし、学科Ⅲ、Ⅴについては例年並みの難易度だったと考えられます。

令和7年度は、例年と異なり、省エネ法改正関連の4月1日施行となった法改正も試験適用範囲となり、該当する問題に対しては、法改正に基づいた学習をしておく必要がありました。その他の初出題については、法改正や実務的な内容の他、近年の社会情勢からの新しい用語や、地球温暖化対策に

基づいた「既存建築物の活用や資源循環」「木質系材料」「エンボディドカーボン」「一次エネルギー消費量等級の基準」「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」といった内容が出題されました。また、災害対策に関する内容もみられました。さらに、その他にも新しい形式の出題もみられました。今後の試験については、これら新傾向問題についてポイントをおさえた学習と過去出題されている内容を正しく判断する学習が重要になります。

[正答肢が初出題の問題数]

	学科Ⅰ (計画)	学科Ⅱ (環境・設備)	学科Ⅲ (法規)	学科Ⅳ (構造)	学科Ⅴ (施工)	合計
令和7年度	11問/20問中	10問/20問中	9問/30問中	9問/30問中	10問/25問中	49問/125問中
令和6年度	12問/20問中	4問/20問中	11問/30問中	8問/30問中	10問/25問中	45問/125問中



令和7年度の2級建築士学科試験は、正答肢が初出題の問題は100問中22問となり、令和6年度と同程度でした。科目別では、学科Ⅲ(建築構造)は、例年並みの難度でしたが、学科Ⅰ(建築計画)、学科Ⅱ(建築法規)、学科Ⅳ(建築施工)は、例年に比べ、難度はやや低かったと考えられます。

令和7年度は、例年と異なり、省エネ法改正関連の4月1日施行となった法改正も試験適用範囲となり、該当する問題に対しては、法改正に基づいた

学習をしておく必要がありました。また、各科目で、新しい用語や事項も出題されており、そのような新規の問題に冷静に対応することに加え、過去問とその周辺知識を正しく理解して習得し、正答肢以外の新規の選択肢などに惑わされず、問題に対して正しく判断し、正確に計算することで、十分に合格圏内へと入ることができる出題内容だったと考えられます。正しい学習を積み重ねられたかが試された試験でした。

[正答肢が初出題の問題数]

	学科Ⅰ (建築計画)	学科Ⅱ (建築法規)	学科Ⅲ (建築構造)	学科Ⅳ (建築施工)	合計
令和7年度	7問/25問中	7問/25問中	3問/25問中	5問/25問中	22問/100問中
令和6年度	6問/25問中	3問/25問中	6問/25問中	7問/25問中	22問/100問中

合格実績
No.1

令和6年度
1級建築士 学科・設計製図試験
全国ストレート合格者占有率

64.3%

全国ストレート合格者1,036名中/当学院当年度受講生666名
(令和7年1月15日現在)

令和6年度
1級建築士 設計製図試験
全国合格者占有率

58.7%

全国合格者3,010名中/当学院当年度受講生1,768名
(令和7年1月15日現在)

※学科・製図ストレート合格者とは、令和6年度1級建築士学科試験に合格し、令和6年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※全国ストレート合格者数・全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、資料の提供提供者、過去受講生は一切含まれておりません。



総合資格学院

スクールサイト www.shikaku.co.jp 総合資格 検索
コーポレートサイト www.sogoshikaku.co.jp
SNS X ⇒「@shikaku_sogo」 LINE ⇒「総合資格学院」 Instagram ⇒「sogoshikaku_official」



開講講座

1級・2級 建築士/建築士・土木・管工事施工管理技士/設備・構造設計1級建築士/建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

法定講習

監理技術者講習/一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

札幌校

TEL.011-219-3511 札幌市中央区南一条西6-11 札幌北成ビル4F

今年度の一級・二級建築士学科試験において、当会の賛助会員である総合資格学院様と日建学院様に出題状況を分析して頂きました。

会員様の職場・身内・知合いに受験される方がいらっしゃいましたら、この内容を次回の試験にお役立てて頂ければと思います。

令和7年度 **1級**・**2級**建築士学科試験～総評～

1級建築士

令和7年度1級建築士学科試験について合格基準点は、昨年より4点下がり、88点でした。総じて難度が高かったことから、上記合格基準点となっております。試験傾向と難易度分析について標準的な問題の正誤が合否を分けた試験でした。出題傾向は、実務に携わる上での啓発的な出題や社会的な重要性の高い分野からの出題となっており、昨年より大きな変化はありませんでしたが、正答率Aランク（70%以上）の設問が昨年より17問減り37%出題され、正答率Bランク（50%以上70%未満）の設問が、昨年より9問増え41%出題されました。容易なAランクの問題、標準的なBランクの問題を確実に得点できたかにより、合否が分かれた試験となります。標準的な問題（Bランク正答率50～70%）の取りこぼしが合否を分けることから「学習の質」が問われる試験となります。近年の試験は、従来の表現や論点を変えた出題が増えている。標準的な問題の対策であっても、単に過去の出題を暗記するだけでは不十分で、問題の本質を正しく理解し、その周辺情報まで一歩掘り下げた発展的な学習が求められます。



2級建築士

令和7年度2級建築士学科試験について施工はやや易しい内容で、計画・法規・構造は標準的な内容でした。したがって、全体的に標準的なレベルの試験となりました。過去の試験分析から、合格率は年によって大きな差が出ていますが、昨年と同様に比較的高い合格率となりました。今年度についても例年同様に、正答率Aランク（70%以上）の取りこぼしが命取りになる試験となっています。その中で合格を勝ち取るためには、合格に特化した環境、過去データの分析、最新の法令改正や規準改訂に対応して、十分に分析された教材の使用を大前提に、それを活用しながら学習できる環境がより重要となってきています。今後は、省エネ、構造強度、職業倫理、バリアフリー、さらに設計・工事監理に関する専門的（実務的）な試験内容が多く出題されることが予想されます。さらに、建築基準法及び関係法令の改正があり、その対策も必要となります。



ビジュアル映像講義 体験版

<http://www.ksknet.co.jp/nikken/>

日建学院 検索



女性委員会ではこんなことをやっています

鈴木 彩恵 (札幌支部)

コロナ以降WEB会議が一般化し、実際に顔を合わせられる事が、年に1度か2度になりましたが、実際に顔を合わせると、普段気になっている事などが、何気ない会話の中で出てくるものです。

そんな中、「住宅を新築するお客様に暖房は何かいいのか聞かれた時に、どのように回答したらよいのか？」と、一人の委員の問いかけがありました。一概にこれがいい！などと言えるものでもないので、試しに自分たちの家の光熱費を調べてみようという事になりました。

燃料費記入表

住宅の形態や居住人数、暮らし方など様々で、最善の方向を見出すには至りませんが、10軒程度の詳細な情報を見る事で、学びはありました。従来型の電気暖房・給湯をヒートポンプ型に変更した住宅の、大きく光熱費が変わった状況を見せていただきました。高効率の設備機器はインシヤルコストが高いですが、数年で取り返せそうな程改善されていました。

自宅の光熱費出費の振り返りになり、暮らし方を考えるきっかけにもなりました。

ご興味のある方は参加してみませんか？エクセルの記入表をお渡しします。2年分の委員のデータを共有させていただきますので、ぜひご参加ください。

また、対面が減った事も理由にあります。みんながどんな仕事をしているのかわからないよね？と自己紹介のフォーマットを作り会議の最後に5分程度持ち回りで発表の時間を作りました。普段自分が接しないような物件の内容を細かく聞いたり、それぞれのこだわりが伝わり、改めて、建築士会の多様さに楽しさを感じました。自分が業務を行う中で困った事があった時、そういえばあの人に聞けば何かわかるかも？…の、引き出しが増えている気がします。

本部女性委員会での活動の一角を紹介させていただきました。参加してみたい！の声をお待ちしております。

未来の仲間を育む小さな一歩

森岡 菜月 (北見支部)

北見支部では昨年度から、市内の小学校で出前授業「パズルで住まいを考えよう！」を開催しています。これまでに3回実施し、毎回緊張しながらも、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしています。

授業では、札幌支部が制作したパズル形式のアプリを使い、子ども

たちが自分で間取りをつくりまします。題材は「かずおばあちゃんの家」。お客さんが泊まれる部屋が欲しい、日当たりの良い居間からお庭を眺めたい、などの要望をもとに、それぞれの工夫を取り入れて間取りを考えます。最後には自分のプランを発表してもらうのですが、子どもたちの発想はとてもユニークです。中には「お客さんがたくさん来るから駐車場を広くとる」「お花を見ながらご飯が食べられるように、お庭にもテーブルセットを置く」といったアイデアもあり、着眼点の良さに感心してしまいました。

終了後のアンケートでは、「建築に興味を持った」「建築士になって自分の家をつくりたい」「将来の夢の一つになった」といった嬉しい声が寄せられました。中には、「この家を実際に建てたらいくらになるんですか？」と現実的で大人顔負けの質問もあり、答えに少し困ってしまう場面もありました。けれども、そうした素直な疑問こそ、建築に興味を持ってもらえた証拠だと思います。

どの業界でも若手人材の確保は大きな課題ですが、建築業界も同じです。こうした活動を通して建築の魅力を少しでも伝えることができれば、未来の仲間が生まれるきっかけになるかもしれません。子どもたちの中から、将来一緒に働く仲間が一人でも増えてくれたら本当に嬉しいことです。

これからも緊張とワクワクを胸に、子どもたちと建築の楽しさを分かち合える活動を続けていきたいと思っています。



アプリで作成した間取図

室蘭支部 建築士会と私

副支部長

笹谷 雅紀



室蘭支部の笹谷です。私が建築士会に入会して30年くらい経ちます。入会と同時に半強制的に室蘭支部青年部に所属となりました。地元でもあり、学校時代の先輩もいたせいか、体育系というか年齢による上下関係もあり支部の活動その後の飲み会もほぼ強制的に参加させられました。あまり嫌な記憶はありませんでした。

30代の時に室蘭支部で全道大会がありました。仕事終わりに準備をしたり、大会当日はあてられた業務をこなしました。途中で現場にもどり、また大会にもどり、夜の懇親会で余興の司会をしたりで忙しい日々でしたが、大変いい思い出となっております。

支部の活動で市内小学校に出向いて、ふれあい工作室を開き小学生と一緒に巣箱やベンチ、プランターを作り、子供たちに少しでも物づくりの楽しさを感じてもらったと思っています。建築士の日の記念事業で、室蘭岳のだんパラ公園で桜の植樹を毎年行っていました。この活動を青年サミットで発

表し賞を頂き、全国大会三重県でブース展示したことが今でも貴重な経験と思っています。

しかしながら、このあたりから私の仕事をしているか建築士会の活動をしているかあまり家庭を顧みない悪い父親、夫が始まりました。年齢を重ね、青年部の役員・副部長・青年部長、そして道の青年委員を経験させていただきました。

青年副部長の時に、北海道胆振支庁の北方型住宅セミナーと支部活動のふれあい工作室がコラボすることになり、当時の文化センターにたくさんの方が来場してくれました。青年部長の年に、青年サミットが室蘭での開催となり、全道からたくさんの方に参加していただき成功しました。このようなイベントの成功は、支部の方・支部青年部の方が仕事終わりに集まり、準備や当日各役割をこなしてくれた成果と思っています。

家庭を顧みない悪い父親、夫もここでピークを迎えます。今は私の二人の子供は独立し、長男は家庭を持ち子供もいます。今では当たり前前かもですが、長男は家事育児を妻と分担し、休日はほぼ家族と時間を共有しています。その姿

を見て当時の私を思い出し、今更ながら反省し、妻に対して罪滅ぼし・償いをしている最中ですがまだかかりそうです。

話は戻りますが、私の勤務先はあまり大きな組織でなく、情報量も少なく、限られた空間の中での勤務でしたので、建築士会の活動の30年間は私にとって、会議での話し方・進め方、お酒の飲み方、出会った方、本当に勉強になり、財産になりました。建築士会には感謝しています。

昨今室蘭支部は、御多分に洩れず少子高齢化の為と若い建築士がなかなか士会に入ってもらえず会員減少が続く支部内も苦慮しています。同じような状況にある支部も少なくないと思えます。若い方が入って活動してもらわないと建築士会は衰退していくと思います。北海道建築士会各支部を担っていくこれからの方は大変だと思います。

時代の流れ価値観の違いの中で会員同士あまり無理をせず、先輩方が作った伝統形式にこだわらず、小さくても長く続く活動で次の世代にバトンを渡してほしいと思います。

名寄支部 建築士さんお絵描きですよ

副支部長

北野 学



去る7月4日に、建築士の日の事業として、会員等による親睦会が行われました。親睦会は会員等の交流を目的として、焼き肉をしながら建築について語ろうというもので、毎年開いております。今回はその親睦会で行った余興についてお話しします。

皆さんは夕方の某情報番組で放送されている「奥さん（家族で）お絵かきですよ」をご存じでしょうか。お題を1分間で書いて、何を書いたか当てるゲームです。親睦会ではこれをオマージュして「建築士さんお絵描きですよ」を行いました。基本的なルールは本家と同じですが、お題が建築物、構造物に限定されるのが特徴です。つまりサグラダファミリア、東京スカイツリー、札幌時計台といったお題を描いて当てることとなります。

やってみて判ったことですが上

記のような有名な建築物ならすぐに当てられてしまいます。落水荘、カサ・ミラとちょっと難易度を上げて、大体当てられてしまいました。やはり建築士、みんな建物大好きなのですね。今回は親睦会の参加者約20人全員で回答したので、誰かが当ててしまいました。次やるときは、お題をもっと難しくするか、回答者を1人か数人に絞ったほうが良さそうです。

一方描き手のほうですが、親睦会参加者が順番に描き手を務めました。描き手はお題が書かれたくじを引くのですが、全くイメージ出来ない建物に当たる時もあるので、何回かくじを引き直し出来るか、お題候補の中から自分で選んで描くほうが良かったかもしれません。それでも描くことのプロフェッショナルである建築士、大体的特徴を捉えて描いています。画力が足りなくてとんでもないものを書いてしまう、いわゆる「画伯」が現れなかったのが、ちょっと残念でした。

あと改善点としてBGMは用意

した方が良かったです。1分間音無しだと、間を持たせるため、司会が苦勞していました。それと、今回は書く人がいませんでしたが、地図を書くのは禁止がいいでしょう。場所が判れば建物の特定が簡単になってしまいます。

毎年、焼き肉だけして建築についてあまり語れていなかったのですが、この余興により建築について語るとい親睦会の目的が少しは達成出来たかもしれません。記事を参考に、皆様の支部でも是非、余興にお使いいただければと思います。



企画・段取り・当日の司会
すべて1人でこなしてくれた高橋直樹さん

道士会の動き

本部の主な会議報告（9月）

◆第4回女性委員会小委員会（Web）

〈開催日〉2日（火）

- 1) 次期委員についての確認
- 2) 全道大会
- 3) 建築士会のツアーを作る プロジェクト
- 4) 委員による仕事・趣味 紹介

◆第2回道東ブロック会

〈開催日〉12日（金）

本部の主な行事予定（10月）

- 10日（金） 第2回道央ブロック会
 12日（日） 一級・木造建築士（設計製図）試験
 14日（火） 第5回女性委員会小委員会（Web）
 24日（金） 第2回道南ブロック会

講習会・セミナーのご案内（10月）

建築士定期講習

- 2日（木） 旭川市 7日（火） 苫小牧市
 22日（水） 釧路市 28日（火） 北斗市

監理技術者講習

15日（水） 札幌市

既存住宅状況調査講習（新規）

22日（水） 札幌市

修繕の心得講習会

29日（水） 札幌市

木造軸組工法中大規模建築物の構造設計演習

9日（木）-10日（金） 札幌市

CPD認定プログラム（9月認定）

◆do BIM HANDS-ON 2025 in KITAMI

《日程及び会場》10月22日（水） 14：00～17：00
 北見市北ガス市民ホール

《単位数》 3単位

《上記問合せ先》

（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076

編集後記

秋の空気が心地よく、街路樹も色づき始めました。

9月には全国大会や全道大会が開催され、多くの学びと交流の機会がありました。

そして今は、来年の手帳やカレンダーを用意して予定を書き込むのがちょっと楽しみです。

北海道では冬支度も始まります。建築士としても暮らし手としても、備えを整えて安心して冬を迎えたいですね。

情報委員会担当理事 岩崎 美乃（函館支部）

お知らせ

資格取得講座割引について

株式会社総合資格札幌支店様と講座受講料割引支援に関する提携を行い、当会正会員及び準会員であれば、指定の資格取得講座の受講料が割引となります。

割引となる講座の一覧及び連絡先は当会HPに記載しておりますので、資格取得を目指している方はご活用ください。

2025年版 建築物の構造関係技術基準解説書の販売について

「2025年版 建築物の構造関係技術基準解説書」

定価：12,100円（税込）

【建築士会所属の会員様限定】

特典1 全国送料無料キャンペーン中

特典2 ご購入された方には、最新の正誤表がリリースされたタイミングで随時メールでお知らせ



<https://sunpartners-hp.com/book>

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■10月パスワード：Sya060

情報委員会委員長／前田 繁
 副委員長／村山 賢司・立花智亜喜
 委員／角張 隆昌・津山 浩
 奈良岡 修

北海道建築士 No.338号

印刷 令和7年9月／発行 令和7年10月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番